

海底地殻変動観測の準リアルタイム解析 実現に向けた調査研究事業

実施主体：海上保安庁
事業費：27.6百万円
対象事業：調査研究事業

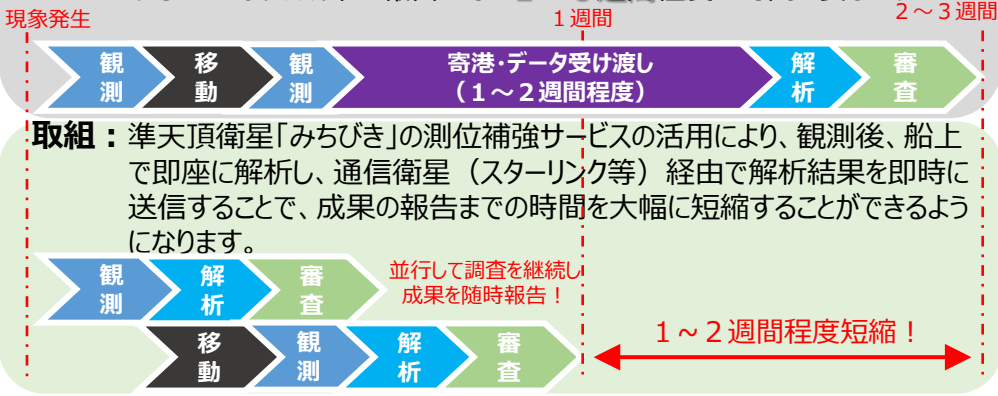
事業目的

巨大地震の想定震源域である南海トラフ・日本海溝において、異常な現象が発生した際に、海底地殻変動観測の観測成果を1週間以内に報告するための環境構築・実証実験を行い、「南海トラフ地震臨時情報」等の評価検討への寄与を図ります。

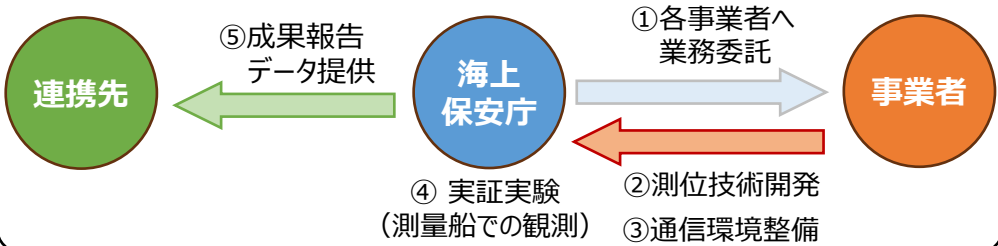
事業概要

連携先：内閣府防災、地震調査研究推進本部、気象庁

現状：気象庁が発表する「南海トラフ地震臨時情報」等において、海溝型地震の震源域の異常な地殻変動を迅速に検出する必要がありますが、現在の海底地殻変動観測では補正情報等が足りず船上で解析することができないため、観測後に寄港し陸上へデータを受け渡した後に解析を開始することとなり、成果の報告までに2～3週間程度の時間を要します。

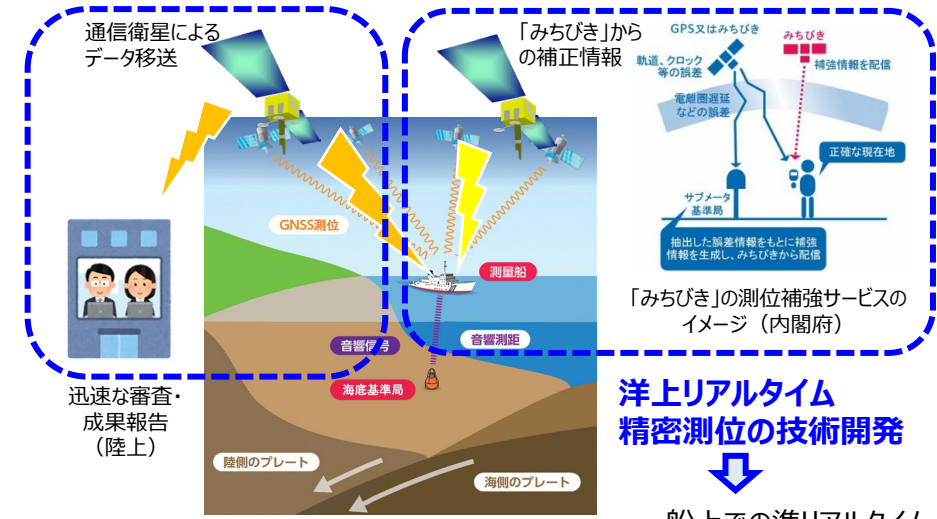


<事業スキーム>



実施イメージ

<本事業で実施する取組>



衛星通信による
洋上通信環境の構築

船上解析結果の即時送信に活用

<本事業により得られる効果>

船上での準リアルタイム解析が実現し、成果の迅速な報告が可能となり、「南海トラフ地震臨時情報」等の評価検討に大きく寄与します。

